

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	70234
事業名	高齢者健康寿命延伸調査費					
評価担当課	所 属	保)高齢保健福 高齢福祉課			電話番号	011-211-2976
施策名	あらゆる世代の市民や企業の健康への意識が高まり、健康づくりや					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	● 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業 内 容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	札幌市の人口は、令和3年から、社会増加数が自然減少数を下回る人口減少局面を迎えている。加えて、年少人口及び生産年齢人口の減少と高齢者人口の増加が同時に進行しており、2040年代には高齢者人口がピークを迎える見込みとなるなど、更なる人口構造の変化が予想されている。 さらに、札幌市民の健康寿命は男女共に全国平均や他の政令指定都市と比較しても短いという課題も抱えていることから、誰もが長く、自分らしく活躍できる社会の実現に向けた対応が急務である(札幌市民の健康寿命(2016年):男性:71. 34歳、女性:72. 89歳)。 このため、一人でも多くの市民の健康づくりや社会参加を後押しし、市民の健康寿命を延ばしていくことが必要である。
	事業内容(何を実施し)	市民、とりわけ高齢者の健康寿命の延伸に向けた効果的な取組を検討するため「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン」の審議会委員で構成する「札幌市高齢者健康寿命延伸検討委員会」を設置し、3回にわたって議論を行った。 また、幅広い市民から「健康寿命」に対する認識や高齢者施策の在り方について意見を伺い、施策の検討に向けた基礎資料とするため、無作為抽出法による1万人規模のアンケート調査を実施した。 さらに、健康寿命の延伸は多くの市民に関わる事柄であり、行政から市民に対して一方的にその必要性を訴えるだけでなく、市民の深い理解と共感に基づいて取組を進めていくことが重要であることから、市民の意見や潜在的なニーズを的確に把握することを目的に市民ワークショップを開催した。 これらの取組を踏まえて「(仮称)高齢者向け健康ポイントアプリ(以下「アプリ」という。)」の導入に向けた検討を行うこととし、令和5年11月に事業の素案を公表。幅広い世代の市民から、素案に対する意見を伺い、具体的な実施案を検討することとした。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	アプリの導入により、高齢者の日常的な活動量や健康データ(歩数、体重等)を可視化するとともに、活動に応じたインセンティブとして、電子マネー等に交換が可能なポイントを付与することで、利用者のモチベーション向上や継続的な取組を促し、高齢者はもとより市民全体の健康寿命延伸に寄与することができる。
	他都市の状況	ポイント事業としては、広島市では65歳以上の市民を対象に、自らの健康づくりや地域支援を行う活動を奨励するため、活動実績に基づきポイントを付与し奨励金を支給する事業がある。また、アプリ活用の事例では、八王子市において60歳以上の市民の健康づくりを目的としてアプリを活用し、ウォーキングや健康づくりに関する活動への参加等によってポイントを付与し、電子マネーと交換できる事業を実施している。
	市民参加の実施	☒ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外

令和4年度決算額	0 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0 人工
令和5年度予算額	16,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	4 人工
令和5年度決算額	10,858 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	4 人工
令和6年度予算額	726,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	4 人工

指標	アウトプット 活動指標1	楽しみながら高齢者が活動できる仕組みの創設			という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		－	創設	検討	検討	創設	－
	↓						
	アウトカム 成果指標1	楽しみながら高齢者が活動できる仕組みの創設			という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		－	創設	検討	検討	創設	－
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	検討委員会での議論や市民意見を踏まえて「楽しみながら活動できる仕組み」の創設に向けた検討を進めていく。					
	アウトプット 活動指標2				という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム 成果指標2				という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	なし
来年度以降の方向性	検討委員会での議論や市民意見を踏まえて「楽しみながら活動できる仕組み」の創設に向けた検討を進める。